

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築製図				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	192	⑥ 単位数	12
⑦ 担当教員(代表)		杉山 直樹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種の建築物の知識と図面表現を的確に学ぶ。 1. 用途別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。 2. 構造別の設計図面の特徴を押さえ、図面の読み取りと表現ができる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計に関連する諸科目の学習の基礎として各種用途の建物（住宅、事務所、集会場等）や各種構造の建物（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造等）をケント紙やトレーシングペーパーに、実務的表現に力点を置いた手法で描く。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	線・文字の練習1		17	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の立面図		
2	線・文字の練習2		18	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図1		
3	表示記号（平面表示記号、材料構造表示記号）のトレース		19	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の矩計図2		
4	専用住宅(木造2階建)の平面図		20	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の階段詳細図		
5	専用住宅(木造2階建)の断面図		21	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の伏図		
6	専用住宅(木造2階建)の立面図		22	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の軸組図		
7	専用住宅(木造2階建)の矩計図1		23	集会場(鉄骨造2階建)の平面図		
8	専用住宅(木造2階建)の矩計図2		24	集会場(鉄骨造2階建)の断面図		
9	専用住宅(木造2階建)の伏図		25	集会場(鉄骨造2階建)の立面図		
10	専用住宅(木造2階建)の軸組図		26	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図1		
11	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図1		27	集会場(鉄骨造2階建)の矩計図2		
12	専用住宅(木造2階建)の平面詳細図2		28	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）1		
13	専用住宅(木造2階建)の建具表		29	木造2階建専用住宅の設計図面（プランニング）2		
14	専用住宅(木造2階建)の展開図		30	木造2階建専用住宅の設計図面（平面図）		
15	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の平面図		31	木造2階建専用住宅の設計図面（断面図）		
16	専用事務所(鉄筋コンクリート造2階建)の断面図		32	木造2階建専用住宅の設計図面（立面図）		
⑰ その他		教科書	超入門 建築製図		出版社：	市ヶ谷出版社
		教材	配布資料		著 者：	永井孝保 他
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040101

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築C A D				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		山田 梨佳	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
JW_CADの基本操作を習得し、基本的な建築設計図を作図する能力を習得する。 基本操作習得後は、効率の良い作図の方法を学び、作図スピードの向上を図る。 図面のトレース能力を高めると共に、データの受け渡しに関する知識も習得する。						
⑬ 授業の概要						
基本的操作方法の練習。 木造住宅等の各種図面を作成。 C A Dソフトにある多くのコマンドを使いこなして作図効率を高める練習をする。 R C造集合住宅図面の作成。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	C A Dの基本的操作1		17	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成3		
2	C A Dの基本的操作2		18	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成1		
3	C A Dの基本的操作3		19	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成2		
4	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成1		20	木造2階建専用住宅の設計図面2（平面図）の作成3		
5	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成2		21	木造2階建専用住宅の設計図面2（断面図）の作成		
6	木造2階建専用住宅の設計図面1（平面図等）の作成3		22	木造2階建専用住宅の設計図面2（立面図）の作成		
7	木造2階建専用住宅の設計図面1（断面図）の作成1		23	木造2階建専用住宅の設計図面2（矩計図）の作成		
8	木造2階建専用住宅の設計図面1（断面図）の作成2		24	R C造階段図面の作図練習1		
9	木造2階建専用住宅の設計図面1（立面図）の作成1		25	R C造階段図面の作図練習2		
10	木造2階建専用住宅の設計図面1（立面図）の作成2		26	R C造建具詳細図面の作図練習1		
11	木造2階建専用住宅の設計図面1（建具表・建具キープラン）の作成1		27	R C造建具詳細図面の作図練習2		
12	木造2階建専用住宅の設計図面1（建具表・建具キープラン）の作成2		28	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成1		
13	木造2階建専用住宅の設計図面1（展開図）の作成1		29	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成2		
14	木造2階建専用住宅の設計図面1（展開図）の作成2		30	R C造集合住宅の設計図面（基準階平面図）の作成3		
15	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成1		31	R C造集合住宅の設計図面（立面図）の作成1		
16	木造2階建専用住宅の設計図面1（各通り軸組図・仕上げ表・表紙）の作成2		32	R C造集合住宅の設計図面（立面図）の作成2		
⑯ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040103

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		インテリア設計製図					
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	162	⑥ 単位数	10	
⑦ 担当教員(代表)		市川 大輔	⑧ 実務経験				
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法		対面授業		
⑪ 評価基準							
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。							
⑫ 授業の目的・目標							
店舗設計・住宅設計の基礎知識に基づいた設計能力及び表現技術と、高度なプレゼンテーション力を習得する。イメージしたプランやデザイン、色や形などを図面化し、完成まで進めて行く技術と手段を身につける。							
⑬ 授業の概要							
・店舗設計・住宅設計における必要図面の作成能力の習得 ・TPOに対応できる企画力・表現技術の向上 ・説得力のあるプレゼンテーション技術の取得							
⑭ 準備学習・事後学習							
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。							
⑮ 授業計画							
1	第1課題ガイダンス		17	住宅・店舗の設計エスキース等の作成			
2	住宅・店舗の設計エスキース等の作成		18	住宅・店舗の設計エスキース等の作成			
3	住宅・店舗の設計エスキース等の作成		19	住宅・店舗の設計の設計図面（平面図）の作成			
4	住宅・店舗の設計エスキース等の作成		20	住宅・店舗の設計の設計図面（平面図）の作成			
5	住宅・店舗の設計の設計図面（平面図）の作成		21	住宅・店舗の設計の設計図面（立面図・断面図）の作成			
6	住宅・店舗の設計の設計図面（平面図）の作成		22	住宅・店舗の設計の設計図面（展開図）の作成			
7	住宅・店舗の設計の設計図面（立面図・断面図）の作成		23	住宅・店舗の設計の模型の作成			
8	住宅・店舗の設計の設計図面（展開図）の作成		24	住宅・店舗の設計の模型の作成			
9	住宅・店舗の設計の模型の作成		25	住宅・店舗の設計のプレゼンテーションの作成			
10	住宅・店舗の設計の模型の作成		26	住宅・店舗の設計のプレゼンテーションの作成			
11	住宅・店舗の設計の模型の作成		27	講評			
12	住宅・店舗の設計のプレゼンテーションの作成		28				
13	住宅・店舗の設計のプレゼンテーションの作成		29				
14	講評		30				
15	第2課題ガイダンス		31				
16	住宅・店舗の設計エスキース等の作成		32				
⑰ その他		教科書	コンパクト建築設計資料集成		出版社：	丸善株式会社	
		教材	[インテリア]		著 者：	社団法人 日本建築学会	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。					科目コード	040107

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築計画					
② 対象学科	工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	48	⑥ 単位数	3	
⑦ 担当教員(代表)	日比 優介	⑧ 実務経験	設計実務経験者			
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業			
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
各種建築物に関する知見を整理し、設計段階（基本設計）における空間計画（特に平面計画）の基礎知識を習得する。 さらに、これらの知識を活用し設計製図に取り組める能力を養っていく。						
⑬ 授業の概要						
空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種ビルディングタイプ別にその歴史・背景から、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	計画と設計、居住施設の計画（住様式と住宅の変化）	17	医療施設・福祉施設の計画（高齢化社会と建築計画）			
2	居住施設の計画（一戸建て住宅）1	18	医療施設・福祉施設の計画（病院）1			
3	居住施設の計画（一戸建て住宅）2	19	医療施設・福祉施設の計画（病院）2			
4	居住施設の計画（集合住宅）1	20	医療施設・福祉施設の計画（高齢者施設）1			
5	居住施設の計画（集合住宅）2	21	医療施設・福祉施設の計画（高齢者施設）2			
6	居住住宅の計画（細部計画）1	22	商業施設の計画（規模計画と経済効果）			
7	居住住宅の計画（細部計画）2	23	商業施設の計画（事務所ビル）1			
8	学校教育施設の計画（幼稚園・保育所）	24	商業施設の計画（事務所ビル）2			
9	学校教育施設の計画（小学校・中学校）1	25	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）1			
10	学校教育施設の計画（小学校・中学校）2	26	商業施設の計画（劇場・音楽ホール）2			
11	社会教育施設の計画（生活圏とコミュニティ施設）	27	商業施設の計画（百貨店・スーパーマーケット）			
12	社会教育施設の計画（図書館）	28	商業施設の計画（駐車場）			
13	社会教育施設の計画（美術館）	29	商業施設の計画（宿泊施設・ホテル）			
14	社会教育施設の計画（コミュニティセンター・公民館）	30	外部空間の計画			
15	居住施設・学校教育施設・社会教育施設のまとめ	31	総まとめ			
16	確認試験	32	確認試験			
⑰ その他	教科書	初学者の建築講座 建築計画	出版社：	市ヶ谷出版社		
	教材	配布資料	著 者：	佐藤考一・五十嵐太郎		
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040201

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築デザイン史				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	22	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		岩田 敏也	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
日本建築・西洋建築の歴史を、インテリアを学ぶ上で、気候・風土や社会経済・宗教をふまえながら建築様式の特徴やデザイン、建築美について学ぶ。これにより、デザイナーとしての必要な常識を養い、その基盤に立ってこれからの建築及びインテリアデザインのあり方について進路を切り開く。						
⑬ 授業の概要						
各時代の代表的な建築物をいくつか具体的に取り上げ、それに付随するデザインについてもクローズアップする。その時代の特徴・材料・技巧を捉えることにより、次の時代への考察も並行して行う。建築・デザインの変遷と特徴及び嗜好された流行美を正しく理解することにより、現代建築・インテリアデザイン技術の向かうべき姿勢を学習する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	日本古代の建築（縄文～古墳時代の住居、集落、奈良・平安時代の仏寺建築、神社建築、寝殿造）		17			
2	日本中世の建築（和様、大仏様、禅宗様の特徴、新しい建築様式）		18			
3	日本近世の建築1（城郭建築、書院造、数寄屋風建築、寺院建築）		19			
4	日本近世の建築2（霊廟建築、農家の発達）		20			
5	西洋古代の建築（オリエント、エジプト、ギリシア、ローマ建築の特徴と技術史）		21			
6	西洋中世の建築（初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック建築の特徴と技術史）		22			
7	西洋近世の建築（ルネサンス、バロック、新古典主義建築の特徴と技術史）		23			
8	近代建築史「西洋」（産業革命、造形と芸術、様式の確率、国際建築の発展）		24			
9	近代建築史「日本」（洋風建築、外人技士の活動と日本建築家の育成）		25			
10	近代建築史「戦後」（ポストモダン、耐震建築構造の発展、都市、建築家のあり方とそのニーズ）		26			
11	確認試験		27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書 教材	コンパクト版 建築史（日本・西洋）	出版社：	彰国社	
				著 者：	「建築史」編集委員会	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040203

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		計画実践				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	81	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		杉山 直樹		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		演習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築計画と建築製図の知識を活かし、より実践的な条件下で、住宅から各種建築物の具体的な間取りや外観等を多角的に検討して行く。実際のエスキース作業を通し、建物の計画立案における各段階に必要な知識と技術を習得させる。						
⑬ 授業の概要						
実戦的問題演習により、総合的に建築計画をまとめて行く。 1. エスキース段階における建物内外の立体的思考をする。 2. デザインのみにとらわれず、構造面にも十分配慮された計画の立案をする。 3. 木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造の各構造の特徴をふまえた計画を立案する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画1		17	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画1		
2	住宅様式の変遷と住宅平面の類型、住宅における各室の機能と配置・平面計画2		18	鉄筋コンクリート造・鉄骨造の配置・平面・立面・断面計画2		
3	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画1		19	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1		
4	木造戸建て住宅の、配置・平面・立面・断面計画2		20	鉄筋コンクリート造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2		
5	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法1		21	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1		
6	木造戸建て住宅の、基礎伏せ図・1階床伏せ図の作図法2		22	鉄筋コンクリート造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2		
7	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法1		23	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習1		
8	木造戸建て住宅の、2階床伏せ図・小屋伏せ図の作図法2		24	鉄骨造戸建て住宅の平面計画とエスキース演習2		
9	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習1		25	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習1		
10	木造戸建て住宅各伏せ図の作図演習2		26	鉄骨造公共建築物等の平面計画とエスキース演習2		
11	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習1		27	総まとめ		
12	木造戸建て住宅の矩計図の作図法及び演習2		28			
13	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習1		29			
14	木造2階建て専用住宅の平面計画とエスキース演習2		30			
15	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習1		31			
16	木造2階建て店舗併用住宅の平面計画とエスキース演習2		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040204

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		環境工学				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		近藤 幹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
健康で快適な室内環境を実現するための知識として、建築に求められる環境条件を物理量や感覚評価量を体系的にとらえて学び、それらを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。また、地球温暖化対策や資源の有効活用、廃棄物の再利用など環境に配慮した建築のあり方にも指針となるものとする。						
⑬ 授業の概要						
住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。また、人間の温熱感覚を表す指標やその測定方法、自然環境と建築物の基本的関係についても注目していく。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	環境工学の概論		17			
2	太陽位置と日照		18			
3	日影・日射		19			
4	測光量と採光		20			
5	人工照明		21			
6	色彩の表し方と色彩計画		22			
7	空気汚染と必要換気量		23			
8	自然換気と機械換気		24			
9	伝熱の基本		25			
10	建物全体の熱特性		26			
11	湿り空気と空気線図		27			
12	結露		28			
13	温熱感覚指標		29			
14	気象と都市環境		30			
15	音の性質、音響計画		31			
16	確認試験		32			
⑰ その他		教科書 教材	初学者の建築講座 建築環境工学	出版社： 著 者：	市ヶ谷出版社 倉 淵 隆	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040301

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	建築設備				
② 対象学科	工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	2
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)	不破 宏典	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
建築設備の概要を理解させる。建築と設備の関連性について習得させ、建築技術者として、建築設備の知識を育成する。建築設備の用語・方式を理解させる。建築設備全般的な考え方を理解させる。建築技術者として、建築設備の知識を習得する。					
⑬ 授業の概要					
人間生活をより快適でより安全とするための具体的な各種設備（給水・排水・ガス設備・電気設備・空調設備・電気設備等）について、用語から各種方式までを理解し、建築設備への全体的な考え方と適切な方式の選択方法などを学習する。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	建築設備の分類・概論	17	電気設備の概要（役割・構成等）		
2	給排水衛生設備の概要（役割・構成等）	18	受変電・幹線・動力設備1		
3	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）1	19	受変電・幹線・動力設備2		
4	給水設備（方式の種類と特徴・必要圧力・タンク設置規定・管材と施工方法等）2	20	照明・コンセント設備		
5	給湯設備（方式の種類と特徴・給湯温度・管材と施工方法等）	21	電気設備のまとめ		
6	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）1	22	消火設備（方式の種類と特徴等）		
7	排水設備・通気設備（方式の種類と特徴・排水トラップ・管材と施工方法等）2	23	防災設備（自動火災報知設備）		
8	屋外排水設備（排水枅の種類・方式・施工法等）	24	ガス設備（方式・種類・機器性能等）		
9	排水処理設備（排水処理方法・浄化槽の性能）	25	消防防災設備のまとめ		
10	給排水衛生設備のまとめ	26	建築設備総まとめ		
11	空気調和設備の概要（役割・構成等）	27	確認試験		
12	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）1	28			
13	空気調和設備（室内環境基準・種類・特徴・空調負荷・空調機器等）2	29			
14	換気設備（方式の種類と特徴・必要換気量の算出等）	30			
15	空調換気設備のまとめ	31			
16	確認試験	32			
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築設備	出版社：	市ヶ谷出版社
		教材		著 者：	大塚雅之
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	040401

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		構造力学				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		小牧 友久	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
構造物に外力が作用した場合、構造物を安全かつ経済的に設計するための、構造計算の基礎となる一般原理を習得する。建築技術者として建築物の安全性に関わる非常に重要な建築構造の一分野であることを認識し、構造計画・計算のための基礎知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
力学の入門(力のモーメント・反力等)から、静定構造物に働く各種の荷重・応力等について理解し、構造物を構成する部材の大きさや断面の形状による力学的性質等についても学ぶ。さらには、静定構造物の解法から発展させ、不静定構造物について、より応力算定としては高度で複雑な計算知識と理論（固定モーメント法やD値法等）を習得する。崩壊荷重（耐力）を求める方法（仮想仕事法等）についても学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	力および荷重の基礎		17	トラスの解法（節点法・切断法）1		
2	力のモーメント		18	トラスの解法（節点法・切断法）2		
3	力の合成と分解		19	断面に関する数量（図心）		
4	力の釣り合い		20	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）1		
5	反力の求め方1		21	断面に関する数量（断面2次モーメント・断面係数）2		
6	反力の求め方2		22	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度1		
7	単純梁の応力1		23	軸応力度（ひずみ度・ヤング係数）・せん断応力度2		
8	単純梁の応力2		24	曲げ応力度1		
9	片持ち梁の応力1		25	曲げ応力度2		
10	片持ち梁の応力2		26	許容応力度・許容曲げモーメント1		
11	単純梁系ラーメンの応力1		27	許容応力度・許容曲げモーメント2		
12	単純梁系ラーメンの応力2		28	曲げ応力度と軸応力度の組み合わせ		
13	3 ヒンジラーメンの解法1		29	座屈・たわみ		
14	3 ヒンジラーメンの解法2		30	不静定構造（不静定構造とは・不静定構造の解法）		
15	演習問題と解法		31	演習問題と解法		
16	確認試験		32	確認試験		
⑯ その他		教科書 教材	基礎から学ぶ 建築構造設計 及び 配布資料	出版社：	実教出版	
				著 者：	実教出版編修部	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040501

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築一般構造				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	48	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		細野 耕司	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築物の概要と構造の種類、構造方式の考え方について理解する。建築設計者・施工者としての必要な構造に関する技術・知識を養う。						
⑬ 授業の概要						
各種躯体（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・組積造・プレストレスコンクリート造等）の基本的な構法や、各部構法(基礎・屋根・壁・開口部・床・階段・天井・造作と納まり等)を学ぶ。そして、1つの建築物が建っていくまでの流れを理解したり、現存する建築物の構法についても理解を深める。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	導入（目的と目標、学習内容、前提知識）		17	鉄筋コンクリート造（各部の構造）		
2	木構造（木材、木構造の特徴）		18	鉄筋コンクリート造（階段）		
3	木構造（在来工法の基礎、床下換気口）		19	鉄筋コンクリート造（壁式鉄筋コンクリート構造）		
4	木構造（軸組、小屋組、床組）1		20	鉄筋コンクリート造後半まとめ		
5	木構造（軸組、小屋組、床組）2		21	鉄骨造（鋼材の特徴）		
6	木構造（筋交いと耐力壁）1		22	鉄骨造（構造形式）		
7	木構造（筋交いと耐力壁）2		23	鉄骨造（接合）		
8	木構造（階段、継手・仕口、金物）		24	鉄骨造（部材の設計）		
9	木構造（枠組み壁工法）		25	鉄骨造（各部の構造）		
10	木構造まとめ		26	鉄骨造（床板、階段、耐火被覆）		
11	鉄筋コンクリート造（コンクリートと鉄筋）		27	鉄骨造まとめ		
12	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）1		28	鉄骨鉄筋コンクリート造		
13	鉄筋コンクリート造（特徴、原理、構造形式）2		29	補強コンクリートブロック造・プレストレストコンクリート造		
14	鉄筋コンクリート造（配筋計画）		30	その他構造まとめ		
15	鉄筋コンクリート造前半まとめ		31	建築一般構造総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書	図説 やさしい建築一般構造		出版社：	学芸出版社
		教材			著 者：	今村仁美・田中美都
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040601

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築材料				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		鈴木 樹	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
木造・RC造・S造等の建築設計・施工時に使用される主要材料の製造・性質・種類などの基礎的な知識を習得する。建築実務に携わった際にプロとして対応できる基本的な知識を備えていること。建築材料の知識が、建築設計や施工時にどのように繋がっていくか習得する。						
⑬ 授業の概要						
建築物の具体的使用例等を例示しながら、セメント・コンクリート・金属・木材等の建築物としての主要建築材料や、その他塗料・ガラス・タイル・石材・左官材等の仕上げ材料の基本から応用的な知識までを学ぶ。また、新建材についても取り上げその特徴を分析する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	概要		17			
2	構造材料（木材）1		18			
3	構造材料（木材）2		19			
4	構造材料（鋼材）1		20			
5	構造材料（鋼材）2		21			
6	構造材料（コンクリート）1		22			
7	構造材料（コンクリート）2		23			
8	仕上げ材料（タイル・煉瓦）		24			
9	仕上げ材料（石材・ガラス）		25			
10	仕上げ材料（左官・吹付材）		26			
11	仕上げ材料（プラスチック）		27			
12	仕上げ材料（塗料）		28			
13	仕上げ材料（防水材料）		29			
14	その他の仕上げ材料		30			
15	建築材料総まとめ		31			
16	確認試験		32			
⑰ その他		教科書	初学者の建築講座 建築材料		出版社：市ヶ谷出版社	
		教材			著 者：橘高義典 他	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040701

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築施工				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	64	⑥ 単位数	4
⑦ 担当教員(代表)		渡邊 文雄	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
建築生産をはじめとし、躯体工事、仕上げ工事等の各種工事から1つの現場の流れについて理解し、建築施工者としての必要な施工に関する技術・知識を養う。						
⑬ 授業の概要						
鉄筋コンクリート・鉄骨・木・土工事等の躯体工事の基本的な施工方法や左官・防水・内装等の仕上げ工事の施工方法の知識を学ぶ。そのほか工事の請負契約や請負制度の概略を学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	建築生産（設計と施工）1		17	仕上工事（屋根工事）1		
2	建築生産（設計と施工）2		18	仕上工事（屋根工事）2		
3	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）1		19	仕上工事（防水工事）1		
4	施工計画（品質管理・材料管理・工程管理・安全管理・工程表の理解）2		20	仕上工事（防水工事）2		
5	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）1		21	仕上工事（左官工事）1		
6	仮設工事・準備工事（共通仮設工事・直接仮設工事・施工機械）2		22	仕上工事（左官工事）2		
7	土工事・地業・基礎工事1		23	仕上工事（タイル工事・石工事）1		
8	土工事・地業・基礎工事2		24	仕上工事（タイル工事・石工事）2		
9	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）1		25	仕上工事（建具工事・ガラス工事）1		
10	躯体工事（鉄筋コンクリート工事）2		26	仕上工事（建具工事・ガラス工事）2		
11	躯体工事（鉄骨造）1		27	仕上工事（内装工事・塗装工事）1		
12	躯体工事（鉄骨造）2		28	仕上工事（内装工事・塗装工事）2		
13	躯体工事（木工事）1		29	仕上工事まとめ1		
14	躯体工事（木工事）2		30	仕上工事まとめ2		
15	躯体工事まとめ		31	建築施工総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書 教材	2級建築施工管理技士一次対策テキスト	出版社：	建築資料研究社	
				著 者：	日建学院	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	040801

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		施工管理					
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2	
⑦ 担当教員(代表)		児玉 道子		⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準							
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。							
⑫ 授業の目的・目標							
施工管理上必要な建築学の知識と、建築実務上重要な施工計画・工程管理・品質管理・安全管理の諸事項を習得させる。実務に就いた際に現場施工監督者（管理者）としての必要な知識を備える。							
⑬ 授業の概要							
現場施工の工事完了までの諸事項を、安全管理・工程管理・品質管理面について検討し、実務設計図面を使用してスムーズに工事が進行するように具体的な施工計画書を作成する。							
⑭ 準備学習・事後学習							
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。							
⑮ 授業計画							
1	施工計画・施工機械		17				
2	工事管理・申請・届出		18				
3	地盤調査・仮設工事		19				
4	土工事・基礎工事		20				
5	コンクリート工事		21				
6	鉄骨工事・プレキャスト工事		22				
7	メーソンリー工事・ALC工事		23				
8	防水工事		24				
9	張石工事・タイル工事		25				
10	木工事・左官工事		26				
11	屋根工事・金属工事		27				
12	カーテンウォール工事・ガラス工事		28				
13	内装工事・塗装工事		29				
14	改修工事・設備工事		30				
15	請負契約		31				
16	確認試験		32				
⑰ その他		教科書	建築施工テキスト		出版社：	井上書院	
		教材			著 者：	兼歳昌直	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。					科目コード	040804

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築法規					
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2		
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	54	⑥ 単位数	3	
⑦ 担当教員(代表)		二宮 伸吾		⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		講義		⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準							
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。							
⑫ 授業の目的・目標							
我が国の建築活動は法律に基づいて行われており、建築基準法は構造・防火・避難・衛生に関する技術基準や、用途・密度・形態など集団秩序の基準を定めている。また、それらを担保する制度や手続きも規定している。本授業ではこの建築基準法を中心に学び、建築業務に必要な法律知識を身につけ、社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。							
⑬ 授業の概要							
建築基準法を理解する上で重要な用語の定義について図解等を交えてわかりやすく解説する。また、建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について、法の基因関係から逐条の解説を実例と併せて解説すると共に法文内容の理解を深めるために演習を行う。							
⑭ 準備学習・事後学習							
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。							
⑮ 授業計画							
1	建築法規の概要・建築基準法の概要、用語の定義		17	防火・準防火地域の制限			
2	建築に関する用語の定義		18	防火壁等・耐火・準耐火建築物			
3	面積、高さ等の算定1		19	内装制限			
4	面積、高さ等の算定2		20	防火区画			
5	建築基準法に関わる手続き		21	避難施設			
6	居室の採光1		22	構造強度			
7	居室の採光2		23	建築基準法以外の建築関係規定1			
8	居室の換気、アスベスト規制、シックハウス		24	建築基準法以外の建築関係規定2			
9	居室の天井高・床高・階段の寸法等		25	建築基準法以外の建築関係規定3			
10	道路関係		26	建築法規総まとめ			
11	用途地域		27	確認試験			
12	容積率		28				
13	建ぺい率		29				
14	高さ制限・日影規制		30				
15	まとめ		31				
16	確認試験		32				
⑰ その他		教科書	建築関係法令集 法令編		出版社：	総合資格	
		教材			著者：	総合資格学院	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。					科目コード	040901

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築測量実験				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	33	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		石橋 敦士	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
一つの建築物を設計し、竣工するまでに必要な様々な建築測量技術を習得する。測量技術がどのように使われるかを知り、正確な計測、計算が出来るような力を養成する。また、一つの建築物が完成するまでに使用される主な構造材料（セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等）の基本的な性能を理解する。						
⑬ 授業の概要						
設計前の敷地調査や建築工事現場で使用する主要な測量関係機器の基本的な使用方法を習得する。実際の敷地・建物を想定して、測量機器を用いて実務に即した実習をする。直接、実験材料に触れることによってその性能や特性を学ぶ。セメント・骨材・コンクリート・鉄筋等の物理的性質を学び、それぞれの材料試験を行うことによってその性質・寸法・形状等が要件にかなったものであることを確かめる。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	距離測量の基礎		17			
2	距離測量の応用(建物内外部の計測・集計)		18			
3	高低測量の基礎		19			
4	高低測量の応用(定規の取り扱い等)		20			
5	平板測量の基礎		21			
6	平板測量と距離測量の応用(土地面積計測・計算)		22			
7	角測量の基礎		23			
8	角測量の応用(基礎・一般階の墨出し)		24			
9	コンクリート調合設計		25			
10	コンクリートスランプ試験・空気量試験		26			
11	コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験		27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041001

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築 I T I				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		臼井 あゆみ		⑧ 実務経験		
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
ワープロ等のパソコンのリテラシーの習得を目指す。さらにプレゼンテーション、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成を行うことができる基礎能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
PCの基本操作を学び、実践的演習を行う。また、ワープロ・プレゼンテーションソフトの活用により各種業務の技術を体得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	OSの基本操作、ネットワークドライブの利用			17	プレゼンテーションの学習	
2	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			18	PowerPoint基礎（スライド作成、編集、効果の設定）	
3	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			19	PowerPoint基礎（スライド作成、編集、効果の設定）	
4	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			20	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
5	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			21	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
6	ビジネス文書の基礎知識、Word基礎、書式設定、編集、保存			22	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
7	Word活用 社外文書の作成			23	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
8	Word活用 社外文書の作成			24	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
9	Word活用 社外文書の作成			25	建築及びデザインを題材としたグループプレゼンテーション計画	
10	Word活用 社外文書の作成			26	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整	
11	Word活用 社外文書の作成			27	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整	
12	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			28	プレゼンテーションのポイント、グループリハーサル、調整	
13	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			29	プレゼンテーションの実践、評価	
14	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			30	プレゼンテーションの実践、評価	
15	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			31	プレゼンテーションの反省	
16	社外文書の編集、表の挿入、その他オブジェクト要素の利用			32	PowerPoint拡張機能	
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041002

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築ⅠⅡ				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	27	⑥ 単位数	0.5
⑦ 担当教員(代表)		臼井 あゆみ		⑧ 実務経験		
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
「建築ⅠⅡ」で習得した知識・技術に加え、表計算等の知識や、画像処理等のソフトを利用し、建築技術者として業務に必要なパソコン操作や書類作成をより高度に行うことができる能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
電子データの基本的考え方を学び、標準化・共有化の実践的演習を行う。また、ワープロ・表計算ソフトの活用により見積書、確認申請等の各種建築関係書類の作成技術を体得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		17	Excel関数 AND、OR		
2	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		18	Excel関数 AND、OR		
3	Excel表作成の基礎 書式設定・書式コピー		19	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
4	Excel数式の設定		20	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
5	Excel数式の設定		21	Excel関数 VLOOKUP、HLOOKUP		
6	Excel数式の設定		22	Excel データベース操作		
7	Excel表作成の基礎 SUM関数、AVERAGE関数、		23	Excel データベース操作		
8	Excel表作成の基礎 SUM関数、AVERAGE関数、		24	Excel データベース操作		
9	Excel関数 SUM、AVERAGE		25	Excel テーブル機能の活用		
10	Excel関数 SUM、AVERAGE		26	Excel テーブル機能の活用		
11	Excel関数 RANK.EQ		27	まとめ		
12	Excel関数 RANK.EQ		28			
13	Excel各種グラフ作成・編集		29			
14	Excel各種グラフ作成・編集		30			
15	Excel関数 IF		31			
16	Excel関数 IF		32			
⑰ その他		教科書 教材	30時間でマスター Excel2013		出版社：	実教出版
					著 者：	実教出版編修部
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041003

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		デジタルデザイン				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	72	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		井熊 里佳	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
依頼主に対し、建築図面をよりわかりやすく説明し、完成後のイメージを理解してもらうためのツールとして活用ができる知識と技術を習得する。イラストレーションソフト（Adobe Illustrator）、画像編集ソフト（Adobe Photoshop）を利用し、デザインプロセスに必要な能力を習得し、住宅規模クラスのプレゼンテーションができる力を身につける。						
⑬ 授業の概要						
図形の作図・レイアウト・文字組・写真の加工といったプレゼンテーションのツールとしての資料作成ができる基礎的な描画テクニックを身につける。住宅規模クラスのプレゼンテーションボードを作成する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	フォトショップ(基本操作、機能説明)1		17	イラストレーター(プレゼンボード作成)、フォトショップ(写真の加工)1		
2	フォトショップ(基本操作、機能説明)2		18	イラストレーター(プレゼンボード作成)、フォトショップ(写真の加工)2		
3	フォトショップ(基本操作、写真の加工)		19	イラストレーター(プレゼンボード作成)、フォトショップ(写真の加工)3		
4	イラストレーター(基本操作、機能説明)		20	イラストレーター(プレゼンボード作成)、フォトショップ(写真の加工)4		
5	イラストレーター(レイアウト基礎)1		21	イラストレーター(プレゼンボード作成)、フォトショップ(写真の加工)5		
6	イラストレーター(レイアウト基礎)2		22	イラストレーター(店舗ロゴ作成)1		
7	イラストレーター(レイアウト基礎)3		23	イラストレーター(店舗ロゴ作成)2		
8	イラストレーター(レイアウト応用)、フォトショップ(写真の加工)1		24	イラストレーター(店舗ロゴ作成)3		
9	イラストレーター(レイアウト応用)、フォトショップ(写真の加工)2		25	イラストレーター(店舗ロゴ作成)4		
10	イラストレーター(レイアウト応用)、フォトショップ(写真の加工)3		26	イラストレーター(店舗ロゴ作成)5		
11	イラストレーター(レイアウト応用)、フォトショップ(写真の加工)4		27	イラストレーター(平面図着色)1		
12	イラストレーター(アイコン作成基本)		28	イラストレーター(平面図着色)2		
13	イラストレーター(ロゴ作成基本)		29	イラストレーター(平面図着色)3		
14	イラストレーター(ロゴ作成応用)1		30	イラストレーター(平面図着色)4		
15	イラストレーター(ロゴ作成応用)2		31	イラストレーター(平面図着色)5		
16	まとめ		32	まとめ		
⑰ その他		教科書	Illustrator 10年使える逆引き手帳	出版社:	ソフトバンククリエイティブ	
		教材	配布資料	著者:	高野雅弘	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041008

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	C G I		
② 対象学科	工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年 1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数 48	⑥ 単位数 1
⑦ 担当教員(代表)	黒野 順子	⑧ 実務経験	設計実務経験者
⑨ 授業形態	実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業
⑪ 評価基準			
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。			
⑫ 授業の目的・目標			
施主・発注者・設計者のイメージを、適格に図面から読み取り、各種手法を使い、質の高いプレゼンテーション（CGパース）ができる能力を身につける。インテリア業界でシェアの高い2次元／3次元のアプリケーションソフト（Vector Works）を使用し、3次元での基礎的な立体表現を身に付ける。			
⑬ 授業の概要			
基本操作を理解し、図面から家具や内装の作成を行なうことで、3次元でのモデリング作成技術を習得する。			
⑭ 準備学習・事後学習			
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。			
⑮ 授業計画			
1	基本操作	17	
2	椅子・ソファの作成	18	
3	椅子・ソファの作成	19	
4	テーブル・照明の作成	20	
5	テーブル・照明の作成	21	
6	家具一式の作成	22	
7	家具一式の作成	23	
8	マンションのインテリアの作成	24	
9	マンションのインテリアの作成	25	
10	マンションのインテリアパースの取り出し・加工	26	
11	マンションのインテリアパースの取り出し・加工	27	
12	店舗のインテリアの作成	28	
13	店舗のインテリアの作成	29	
14	店舗のインテリアパースの取り出し・加工	30	
15	店舗のインテリアパースの取り出し・加工	31	
16	まとめ	32	
⑰ その他		教科書	出版社：
		教材	著 者：
		配布資料	
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 041010

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		C G II				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		横山 将基	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
「C G I」の習得を元に、インテリア業界でシェアの高い2次元／3次元のアプリケーションソフト（Vector Works）を使用し、応用として3次元でモデリング技術と内観パース制作技術を身につける。						
⑬ 授業の概要						
応用として、店舗図面を3Dで表現、どのような複雑な形であっても3Dで表現できる技術を学ぶ。作成した店舗のパースをフォトショップで取り込み加工・修正する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	店舗1	躯体作成1	17	店舗2	躯体作成1	
2	店舗1	躯体作成2	18	店舗2	躯体作成2	
3	店舗1	躯体作成3	19	店舗2	建具、開口部作成1	
4	店舗1	建具、開口部作成1	20	店舗2	建具、開口部作成2	
5	店舗1	建具、開口部作成2	21	店舗2	家具作成1	
6	店舗1	建具、開口部作成3	22	店舗2	家具作成2	
7	店舗1	家具作成1	23	店舗2	その他、装飾作成1	
8	店舗1	家具作成2	24	店舗2	その他、装飾作成2	
9	店舗1	家具作成3	25	店舗2	仕上げ、視点登録	
10	店舗1	その他、装飾作成1	26	店舗2	フォトショップで加工(素材、照明、点景)	
11	店舗1	その他、装飾作成2	27	まとめ		
12	店舗1	仕上げ、視点登録1	28			
13	店舗1	仕上げ、視点登録2	29			
14	店舗1	フォトショップで加工(素材、照明、点景)1	30			
15	店舗1	フォトショップで加工(素材、照明、点景)2	31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041011

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築インテリアパースⅠ				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	48	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		平内 謙介	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
図学の学習により、様々な多角形、黄金矩形、円から発展した形を自由に作成することが出来る能力を身につける。これを元に透視図法を習得し、外観・内観の線描と着色までができる能力を養う。						
⑬ 授業の概要						
・平行透視、成角透視の図法を理解し、図面から透視図を描く。 ・マーカー、パステル、色鉛筆を駆使して透視図の着色をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	1消点足線法の作図練習1		17	1消点リビング2 作図1		
2	1消点足線法の作図練習2		18	1消点リビング2 作図2		
3	1消点足線法作図、分割法・増殖法1		19	1消点リビング2 着色1		
4	1消点足線法作図、分割法・増殖法2		20	1消点リビング2 着色2		
5	1消点家具 作図1		21	1消点ダイニング 作図1		
6	1消点家具 作図2		22	1消点ダイニング 作図2		
7	1消点家具 作図3		23	1消点ダイニング 着色1		
8	1消点家具 作図4		24	1消点ダイニング 着色2		
9	1消点家具 作図5		25	1消点中庭 作図1		
10	1消点リビング1 作図1		26	1消点中庭 作図2		
11	1消点リビング1 作図2		27	1消点中庭 着色1		
12	着色練習1		28	1消点中庭 着色2		
13	着色練習2		29	1消点グリッドMP解説1		
14	1消点リビング1 着色1		30	1消点グリッドMP解説2		
15	1消点リビング1 着色2		31	1消点グリッドMP解説3		
16	まとめ		32	まとめ		
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041014

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築インテリアパースⅡ				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	40.5	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		平内 謙介	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
「建築インテリアパースⅠ」の習得を元に、より高度なプレゼンテーションに対応できるパースの着彩法を身につける。陰影の表現やハイライトの表現、白く残す（塗らない）部分の大切さ等を理解する。						
⑬ 授業の概要						
・平行透視、成角透視の図法を理解し、図面から透視図を描く。 ・マーカー、パステル、色鉛筆を駆使して透視図の着彩をする。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	1消点LDK 作図1	17	2消点足線法住宅 作図1			
2	1消点LDK 作図2	18	2消点足線法住宅 作図2			
3	1消点LDK 作図3	19	2消点足線法住宅 着色1			
4	1消点LDK 作図4	20	2消点足線法住宅 着色2			
5	1消点LDK 着色1	21	2消点足線法マンション 作図1			
6	1消点LDK 着色2	22	2消点足線法マンション 作図2			
7	1消点LDK 着色3	23	2消点足線法マンション 作図3			
8	1消点LDK 着色4	24	2消点足線法マンション 着色1			
9	1消点LDK 仕上げ	25	2消点足線法マンション 着色2			
10	2消点足線法の作図練習1	26	2消点足線法マンション 着色3			
11	2消点足線法の作図練習2	27	まとめ			
12	2消点足線法の作図練習3	28				
13	2消点足線法の作図練習4	29				
14	2消点足線法の作図練習5	30				
15	2消点足線法の作図練習6	31				
16	まとめ	32				
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041015

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築インテリア模型				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	48	⑥ 単位数	3
⑦ 担当教員(代表)		黒野 順子	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
インテリア模型制作のプロセスを学び二次元、三次元についての理解を深める。模型によるプレゼンテーションテクニックを取得し、また建築施工者として図面を読み取ることで、物を立体でとらえる力を修得する。立体的表現の技術・方法を習得する。						
⑬ 授業の概要						
模型の基礎（立方体、曲線）をはじめとし、住宅のスタディ模型等の基本的技術を学び、建築図面を元に材料の選定から模型制作技術や表現方法等を学び、内観に重点を置きながらも外観や構造等についても制作を通して習得する。図面を読み取る能力と表現力を学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	道具説明、立方体作成（練習）		17			
2	住宅内観のプレゼン模型（1/30）練習		18			
3	住宅内観のプレゼン模型（1/30）練習		19			
4	住宅内観のプレゼン模型（1/30）練習		20			
5	住宅内観のプレゼン模型（1/30）練習		21			
6	住宅内観インテリアコーディネート計画		22			
7	住宅内観インテリアコーディネート計画		23			
8	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		24			
9	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		25			
10	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		26			
11	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		27			
12	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		28			
13	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		29			
14	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		30			
15	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の作成		31			
16	住宅内観のプレゼン模型（1/30）の写真撮影		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041017

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		ファニチュアデザイン				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	24	⑥ 単位数	1
⑦ 担当教員(代表)		井熊 里佳	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
インテリアデザインにおける家具の基礎知識を学び、家具のデザインから機能、構造、材料、仕上げについて学ぶ。						
⑬ 授業の概要						
家具の基本的な捉え方を学習し、提案から設計までの技術を身につけ、インテリア全般の計画に活かす。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	家具の分類、家具の種類1		17			
2	家具の分類、家具の種類2		18			
3	家具の実測、家具の材料1		19			
4	家具の実測、家具の材料2		20			
5	家具の実測、家具の構造1		21			
6	家具の実測、家具の構造2		22			
7	家具の実測、家具の仕上げ1		23			
8	家具の実測、家具の仕上げ2		24			
9	製図の基礎		25			
10	家具図面作図1		26			
11	家具図面作図2		27			
12	家具図面作図3		28			
13	家具図面作図4		29			
14	家具図面作図5		30			
15	家具図面作図6		31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041018

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		照明デザイン				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	24	⑥ 単位数	0.5
⑦ 担当教員(代表)		井熊 里佳	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
照明は空間の雰囲気を決定する重要なものである。光の原理から照明の光源の種類、照明方式や器具の用途・種類を理解し、照明の空間設計、デザインまで幅広い知識を習得する。						
⑬ 授業の概要						
照明に関する知識を習得後、用途に合わせた照明器具のデザイン実習や、照明の空間設計実習を実施し、多種多様な状況にも応じることのできる知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	インテリアにおける照明の役割、ランプシェードのデザイン（照明作品紹介）		17			
2	ランプシェードのデザイン（素材・形状・寸法・色の試作と決定）1		18			
3	ランプシェードのデザイン（素材・形状・寸法・色の試作と決定）2		19			
4	ランプシェードのデザイン（素材・形状・寸法・色の試作と決定）3		20			
5	ランプシェードの作図1		21			
6	ランプシェードの作図2		22			
7	ランプシェードの作図3		23			
8	ランプシェードの作図4		24			
9	ランプシェードの制作1		25			
10	ランプシェードの制作2		26			
11	ランプシェードの制作3		27			
12	ランプシェードの制作4		28			
13	ランプシェードの制作5		29			
14	プレゼンボード作成1		30			
15	プレゼンボード作成2		31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041019

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	デッサン					
② 対象学科	工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	24	⑥ 単位数	0.5	
⑦ 担当教員(代表)	高橋 伸明	⑧ 実務経験				
⑨ 授業形態	実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業			
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
デッサンの実習を通して対象を見る力を養う。線、面の表現力を高める。(タッチ) 濃淡による表現力を高める。(トーン・コントラスト) 表現の基礎となる、デッサンを通してモノクローム表現力を身に付ける。						
⑬ 授業の概要						
座学にて透視図法の感覚をつかみ、クロッキー実習を通して線の強弱を習得する。 簡単な直方体の陰影から始め、球体、相貫体により、影・陰を如何に表現するかを学ぶ。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	デッサンとは、透視図法、用具の解説、鉛筆による線・面表現		17			
2	直方体、立方体のデッサン1		18			
3	直方体、立方体のデッサン2		19			
4	球のデッサン1		20			
5	球のデッサン2		21			
6	幾何立体のデッサン1		22			
7	幾何立体のデッサン2		23			
8	コンクリートブロックのデッサン1		24			
9	コンクリートブロックのデッサン2		25			
10	静物デッサン1		26			
11	静物デッサン2		27			
12	静物デッサン3		28			
13	静物デッサン4		29			
14	静物デッサン5		30			
15	静物デッサン6		31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著 者：			
		イーゼル、石膏像、モデル台				
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041020

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	色彩学				
② 対象学科	工業専門課程 インテリアデザイン科			③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)	井熊 里佳	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態	講義	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準					
定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。					
⑫ 授業の目的・目標					
建築・インテリアを構成する素材の必要かつ重要な色について学ぶ。色彩に対する感性を養うことで、様々な感情効果をコントロールし、正しく効果的に見せる為の配色力を身につける。					
⑬ 授業の概要					
色彩の表現、基本としくみについて学び、トレーニングすることで、生活やプレゼンテーションの中で活かしてしていく能力を習得する。					
⑭ 準備学習・事後学習					
単元ごとに小テストを行います。直前の範囲を復習してください。毎回、講義内容の2倍の自学自習を行うこと。					
⑮ 授業計画					
1	生活の中の色の役割	17			
2	色が見えるための条件	18			
3	光から生まれる色	19			
4	色を表し伝える方法	20			
5	カラーオーダーシステム1	21			
6	カラーオーダーシステム2	22			
7	混色と色再現1	23			
8	混色と色再現2	24			
9	色の見え方1	25			
10	色の見え方2	26			
11	配色と色彩調和1	27			
12	配色と色彩調和2	28			
13	近現代のデザインとカラー	29			
14	環境色彩の実例	30			
15	色彩学総まとめ	31			
16	確認試験	32			
⑰ その他		教科書 教材	デザインの色彩	出版社：	日本色研事業株式会社
				著 者：	中田満雄・北畠耀・細野尚志
備考	⑮については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード 041021

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		インテリアコーディネーター演習Ⅰ				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	24	⑥ 単位数	0.5
⑦ 担当教員(代表)		平内 謙介	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
インテリアに関する基礎を学び、講義を通して、インテリア関連資格の取得を目指す。						
⑬ 授業の概要						
課題と座学、各インテリア関連資格対策を通じて、インテリアに関する仕事をするうえで、必要な実務知識・商品知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	インテリアコーディネーター予備知識		17			
2	資格取得の方法と学習計画		18			
3	インテリアデザインのトレンドと特徴		19			
4	インテリアデザイナー代表作と考察		20			
5	インテリアコーディネート概論		21			
6	インテリア計画の考え方・作業域と動作域・人間工学と寸法		22			
7	インテリアエレメント住宅設備・キッチン計画・各キッチンメーカーの特徴		23			
8	まとめ		24			
9	演習課題1		25			
10	演習課題2		26			
11	演習課題3		27			
12	演習課題4		28			
13	演習課題5		29			
14	演習課題6		30			
15	演習課題7		31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041022

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		インテリアコーディネーター演習Ⅱ				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	24	⑥ 単位数	0.5
⑦ 担当教員(代表)		平内 謙介	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
インテリアに関する基礎を学び、講義を通して、インテリア関連資格の取得を目指す。						
⑬ 授業の概要						
課題と座学、各インテリア関連資格対策を通じて、インテリアに関する仕事をするうえで、必要な実務知識・商品知識を習得する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	イメージスケールに合わせたイメージ分類シート作成		17			
2	家具レイアウト平面落とし込み・動線計画		18			
3	プレゼン用ラフ平面図の描き方・家具レイアウト図		19			
4	戸建て住宅外構計画プラン		20			
5	家具レイアウト図の着色		21			
6	照明計画・配灯計画・配線図ラフ作成		22			
7	照明計画配線図作成		23			
8	まとめ		24			
9	演習課題1		25			
10	演習課題2		26			
11	演習課題3		27			
12	演習課題4		28			
13	演習課題5		29			
14	演習課題6		30			
15	演習課題7		31			
16	まとめ		32			
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041023

授 業 計 画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		建築総合演習（実践）				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	162	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		栗本 真一	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 授業形態		実習	⑩ 授業の実施方法	対面授業		
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
1年次習得した各科目内容を実務的視点から総合的にとらえ、実習作業を通して建築全般の理解を深める。 さらに選択した分野に関して自ら調査研究・作品制作する機会を得ることで、専攻分野に特化した実務能力を高める						
⑬ 授業の概要						
建築設計（店舗設計除く）、店舗設計、建築CGパース、建築パース、建築模型、リフォーム等の中から希望の分野を選択し、担当教官のもと作品を制作する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	設計1 課題説明	17	設計3 課題説明			
2	設計1 エスキース	18	設計3 エスキース			
3	設計1 エスキース、スタディ模型	19	設計3 エスキース			
4	設計1 エスキース、スタディ模型	20	設計3 エスキース、スタディ模型			
5	設計1 基本図作成	21	設計3 エスキース、スタディ模型			
6	設計1 基本図作成	22	設計3 ダイアグラム作成			
7	設計1 プレゼンテーション作成、模型	23	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
8	設計1 プレゼンテーション作成、模型	24	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
9	講評	25	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
10	設計2 課題説明、エスキース	26	設計3 プレゼンテーション作成、模型			
11	設計2 エスキース	27	講評			
12	設計2 エスキース、スタディ模型	28				
13	設計2 基本図作成	29				
14	設計2 プレゼンテーション作成、模型	30				
15	設計2 プレゼンテーション作成、模型	31				
16	講評	32				
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	041026	

授 業 計 画 (シラバス)

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		卒業制作・演習				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	2	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	150	⑥ 単位数	5
⑦ 担当教員(代表)		栗本 真一		⑧ 実務経験	設計実務経験者	
⑨ 授業形態		実習		⑩ 授業の実施方法	対面授業	
⑪ 評価基準						
提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
2年間で習得した建築の知識と技術の集大成として、「建築総合演習」をさらに発展的にスケールアップした作品制作や研究をする。 個々の自由なテーマで実用的で魅力的な創造作品を完成させる。						
⑬ 授業の概要						
建築設計（店舗設計除く）、店舗設計、建築CGパース、建築パース、建築模型、リフォーム等の中から希望の分野を選択し、担当教官のもと作品の制作をし卒業制作展を開催し出品する。						
⑭ 準備学習・事後学習						
各授業で実践課題を課すので、復習を兼ねて期日まで2時間以上取り組むこと。						
⑮ 授業計画						
1	設計	課題説明	17			
2	設計	エスキース、スタディ模型	18			
3	設計	基本図作成	19			
4	設計	プレゼンテーション作成、模型	20			
5	講評		21			
6			22			
7			23			
8			24			
9			25			
10			26			
11			27			
12			28			
13			29			
14			30			
15			31			
16			32			
⑰ その他		教科書		出版社：		
		教材		著者：		
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041027

授業計画（シラバス）

【2026年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名		キャリア演習				
② 対象学科		工業専門課程 インテリアデザイン科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別		必修	⑤ 時間数	32	⑥ 単位数	2
⑦ 担当教員(代表)		辻 喜博	⑧ 実務経験			
⑨ 授業形態		演習	⑩ 授業の実施方法		対面授業	
⑪ 評価基準						
演習授業内試験を100点満点として実施し、60点以上を合格とする。						
⑫ 授業の目的・目標						
将来のキャリアを形成していくために必要な、社会人としての基礎学力の理解と就職試験対策を目標とする。						
⑬ 授業の概要						
基礎学力の理解：(国語・数学・社会)の基礎問題を復習し理解する。 就職試験の基礎問題（SPI言語・非言語・一般教養）の理解を図る。						
⑭ 準備学習・事後学習						
学習内容について、事前に内容を1時間程度確認しておくこと。毎回、演習内容と同じ自学自習を行うこと。						
⑮ 授業計画						
1	国語 ①漢字・語句		17	SPI問題 一般教養 日本国憲法、国会、内閣1		
2	国語 ②同訓異字・同音異義語		18	SPI問題 一般教養 日本国憲法、国会、内閣2		
3	国語 ③敬語		19	SPI問題 一般教養 裁判所、国際連合1		
4	国語 ④紛らわしい品詞		20	SPI問題 一般教養 裁判所、国際連合2		
5	社会 ①世界の地域構成		21	SPI問題 一般教養 一般常識1		
6	社会 ②日本の地域構成		22	SPI問題 一般教養 一般常識2		
7	社会 ③現代社会の特色		23	SPI問題 言語基礎 二語の対応関係1		
8	数学 ①四則演算、正と負の数		24	SPI問題 言語基礎 二語の対応関係2		
9	数学 ②式の計算		25	SPI問題 言語基礎 語句の用法1		
10	数学 ③式の展開		26	SPI問題 言語基礎 語句の用法2		
11	数学 ④因数分解		27	SPI問題 言語基礎 熟語の意味、成り立ち1		
12	数学 ⑤データの整理・確率		28	SPI問題 言語基礎 熟語の意味、成り立ち2		
13	数学 ⑥平面・空間図形		29	SPI問題 言語基礎 難読語 四字熟語 ことわざ1		
14	数学 ⑦順列・組み合わせ		30	SPI問題 言語基礎 難読語 四字熟語 ことわざ2		
15	総まとめ		31	総まとめ		
16	確認試験		32	確認試験		
⑰ その他		教科書	出版社：			
		教材	著者：			
		配布資料				
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。				科目コード	041101